

育てよう子どもは地域の宝物

～公民館がつなぐ地域協育ネット～

【長門市 深川中学校区】

地域の概要

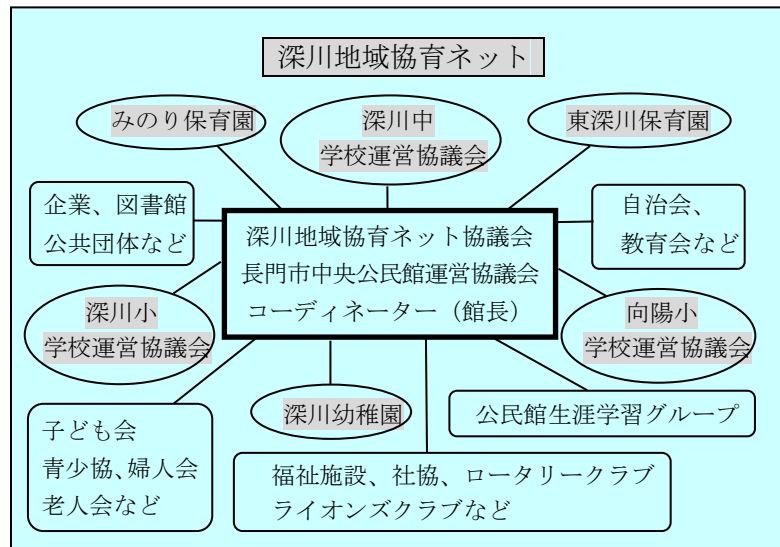
深川中学校区は、市中央部に位置し、長門市駅を中心に立地する公共施設や商業施設、国道 316 号線に沿って湯本温泉街、田園地域の渋木地区と広範囲にわたっています。本地域も他地域と同様に少子高齢化の波は押し寄せており、渋木地区の大畑小学校、深川中学校大畑分校は、深川小学校、深川中学校へ統合され、向陽小学校も年々児童数が減少しています。

人口	13,729 人	
世帯数	5,978 世帯	
対象校及び児童生徒数	深川中学校	318 人
	深川小学校	563 人
	向陽小学校	53 人

組織の内容

【これまでの経緯】 深川中学校区では、1 中学校と 2 小学校ともに学校・家庭・地域が連携し子どもたちを育てていこうとするコミュニティ・スクールに取り組んでいます。従来より、小・中学校ともに、学校支援ボランティアや外部講師による学習や地域の方々による見守り隊など、地域の「ひと・もの・こと」とかかわりを持ち、「地域総がかりで子どもを育てる」という活動が随所で行われていました。そこで、それぞれ独自に進められている既存の学校支援組織や団体に、公民館で活動している社会教育関係団体や関係諸団体を網の目のように結び「地域協育ネット」として進めていくことにしました。

【組織と運営】 公民館は、地域の多くの人たちが「つどい」「まなぶ」「むすぶ」役を担い、生涯学習の拠点のみならず、地域づくりの拠点としての役割があります。地域総がかりで子どもを育てるために支援するという時、公民館に集う生涯学習グループや社会教育関係各種団体は大きな戦力になります。そこで、公民館の既存の協議会を活用して、コーディネーター役を担う公民館型とし取り組んでいます。地域協育ネットについては、普段から、公民館に集う各グループや他の関係諸団体に機会をとらえ説明をするようにしています。また、地域へは、公民館だよりや学校だよりで知らせています。



特色・重点的な取組

公民館型の地域協育ネットとして、生涯学習グループ等を学校支援につなぐことは、地域づくりの一つとしての活動へとつながっていると考えられます。また、各学校の既存の学校支援ネットワークと公民館が持っているネットワークに網をかけることにより、学校支援について、今まで以上に多様な活動を企画することができ、効果的な活動へとつながっています。地域の大人たちは、学校内での教育諸活動で子どもたちと一緒に活動することを通して、子どもとかかわりをもつことができ、地域での活動へ誘いやすくなります。逆に、子どもたちは、地域での諸活動へ参加することで地域を盛り上げ活性化する役を担っています。教育課程内（学校での教育諸活動）と教育課程外（地域行事や各種団体行事）で、大人と子どもと一緒に活動することが、地域づくりの一環となり好循環を生むと考え取り組んでいます。

主な活動の紹介

【学校から支援要請を受けてつないだ主な活動】 外部講師を学校の学習計画の中に位置付け、子どもたちが興味・関心をもち意欲的に学習に取り組むように、教師も地域の方の参加による授業に積極的に取り組んでいます。学校支援に出向かれた方々は、子どもたちと活動することで、子どもたちから元気をもらいやりがいを感じたという声が多く聞かれます。



体育科水泳指導



総合的な学習絵手紙指導



家庭科ミシン指導



図工科墨絵指導

【子どもたちが地域を盛り上げる】 地域の方々は、子どもたちに活動の場をつくり、子どもたちが地域でいろいろな行事にかかわることで地域も活性化します。



地域での子ども神輿



赤崎祭りでの樂踊り



クリーンウォーク



公民館祭り準備

【子どもの居場所づくり「わくわく土曜塾」】 公民館では、土曜日の子どもの居場所づくりとして「わくわく土曜塾」を行っています。生涯学習グループや高校、各種団体と連携し、いろいろな体験活動を実施することができるのも公民館型の地域協育ネットのメリットです。



フォークダンス



蒲鉾づくり



アグリスクール



防災体験炊き出し

成果と課題

【成果】 地域協育ネットの網をかけることにより、公民館に集う生涯学習グループや各種団体が、学校へ出向き、子どもたちと活動することが、日常的に行われるようになってきました。学校側も学習計画の中に、地域の「ひと、もの、こと」とのかかわりを位置付け、子どもたちが、興味・関心をもち意欲的に学習に取り組むようにしています。また、地域では、祭りなどの行事の中で、子どもたちに出番をつくる企画が実践されるようになってきました。

【課題】 地域協育ネットの取組は、広報活動等により随分協力も得られるようになってきましたが、十分定着したとは言えません。今後、更に地域を巻き込む手だてや方策を考えていきたいと思ひます。

今後の取組

本地区の地域協育ネットは、地域づくりの一環として取り組んでいます。今後も、「地域総がかりで子どもを育てる」という意識のもとに、既存の活動を位置付け、実践を積み重ねていこうと思っています。また、学校運営協議会組織も活用しながら進めていきたいと考えています。地域の大人が子どもたちを育て、子どもたちが地域を盛り上げるような取組をめざしていきたいと思っています。子どもたちを育てるという面で、地域協育ネットは、じっくりと効いてくる漢方薬のようなものであると考えています。